

保健・健康



※特に記載があるものを除いて、会場・詳細は保健センター(若草町6-1 ☎385-5252)です。

◎ 乳幼児健診

対象者に送られる個別案内または市HPをご覧ください。



◎ 歯科相談・フッ素塗布

日時●2/4(水)、27(金)13:15～15:00。
対象●就学前のお子さん。※フッ素は1歳から。
持ち物●母子手帳、歯ブラシ、コップ、タオル。
料金●フッ素800円。



◎ 2月 献血バスひまわり号巡回日程

日 時	場 所
17(火)	9:00～10:00 石狩NOSAI(篠津401-4)
	11:00～13:00 江別市水道庁舎(萩ケ岡1)
	14:30～16:30 マックスバリュ上江別店(上江別442-16)
25(水)	9:30～11:00 (株)日本デジタル研究所(西野幌120-5 RTNパーク内)
	11:45～13:00 北海鋼機(株)(上江別441)
	14:30～16:30 JA道央 江別支所(6条8丁目)



●当日の輸血用血液の在庫状況によっては、400ml献血のみの受付となります。

各種がん検診

項目	助成対象		留意事項		
胃・肺・大腸がん	受診日現在40歳以上の方。		職場で検診を受ける機会のない市民が対象。受診の際は健康保険証をお持ちください。実施医療機関は、「広報えべつ10月号」に折り込みの「江別けんしんだより後期版」をご覧ください。保健センターまでお問い合わせを。		
子宮頸がん	受診日現在20歳の方および21歳以上で元号の生まれ年が偶数年の方。				
乳がん	受診日現在40歳の方および41歳以上で元号の生まれ年が偶数年の方。【注意!対象外の方】①乳腺の経過観察中の方や乳腺疾患で治療中の方、②豊胸手術を受けた方、③心臓にペースメーカーなどを装着中の方。※脳室-腹腔内シャント、IVHポートなどを入れている方も対象外となる場合があります。				
骨粗しょう症	平成26年4月～平成27年3月までに、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳を迎える女性。				
送迎バス検診	日程	受付期間	出発場所・(時間)	料金()は国保加入者	留意事項
	3/11(水)	2/2(月)～2/23(月)	コミュニティセンター(8:00) 野幌公民館(8:20) ※コミュニティセンターと野幌公民館の駐車場は利用できません。いずれも公共交通機関をご利用ください。	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん 1,000円(500円) 肺がん 300円(200円) 大腸がん 500円(300円) 子宮がん頸部 1,000円(500円) 子宮がん頸部・体部 1,500円(800円) 乳がん40～49歳 1,400円(700円) 乳がん50歳以上 1,200円(600円) 骨粗しょう症 400円(200円) 	がん検診を受ける方が対象 ※ご加入の健康保険によっては特定健診があわせて受けられる場合があります。 送迎バス検診 申込・会場 / 北海道対がん協会 札幌市東区北26条東14丁目1-15 ☎748-5522 受付時間 / 平日9:00～17:00 第1・3土曜日9:00～12:20
	3/19(木)	2/2(月)～3/3(火)	市役所大麻出張所(8:00)		
はつらつ検診	3/18(水)、 19(木)、 20(金)	2/5(木)～3/3(火)	会場:保健センター(若草町6-1) 時間:6:30～10:30頃 ※申込時に予約時間を伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん 1,000円(500円) 肺がん 200円(100円) 大腸がん 300円(200円) 	はつらつ検診申込 保健センター ☎385-5225 (平日8:45～17:15)

休日・祝日当番病・医院(救急・急病)

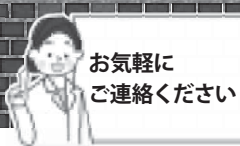
【診療時間】内科・小児科9:00～17:00/外科系9:00～翌朝9:00(■印の医療機関は診療時間が異なります。)

※都合により変更される場合があります。新聞紙上または北海道救急医療情報案内センター(☎0120-20-8699、携帯電話からは011-221-8699)、江別市消防本部(☎382-5453)、江別医師会のホームページでご確認ください。

月/日	内科・小児科	外科系
2/1(日)	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院(内科のみ) 幸町22 ☎382-5111 <input checked="" type="checkbox"/> とがし小児科 野幌松並町25-2 ☎385-0150(診療時間 8:30～16:00)	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院 野幌代々木町81-6 ☎382-1111
8(日)	<input type="checkbox"/> みはらしクリニック 元江別890-15 ☎384-3184 <input type="checkbox"/> ウルトラ内科小児科クリニック(小児科のみ) 大麻栄町11-9 ☎688-8801	<input type="checkbox"/> 溪和会江別病院 野幌代々木町81-6 ☎382-1111
11(水・祝)	<input type="checkbox"/> 友愛記念病院(内科のみ) 新栄台46-1 ☎383-4124 <input type="checkbox"/> 松尾こどもクリニック 高砂町25-11 江別メディカルビル3階 ☎384-8819	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町22 ☎382-5111
15(日)	<input checked="" type="checkbox"/> むらかみ内科クリニック 大麻新町7-6 ☎387-1555(診療時間 8:30～17:00) <input type="checkbox"/> おおめま小児科 東野幌本町7-5 切子のつぼろ2階 ☎385-6782	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町22 ☎382-5111
22(日)	<input type="checkbox"/> 野幌病院(内科のみ) 野幌町53 ☎382-3483 <input checked="" type="checkbox"/> 江別市立病院(小児科のみ) 若草町6 ☎382-5151(診療時間 8:30～17:00)	<input checked="" type="checkbox"/> 江別市立病院 若草町6 ☎382-5151(診療時間 8:30～翌朝8:30)
3/1(日)	<input type="checkbox"/> おくの内科胃腸科クリニック 野幌町26 野幌メディカルビル4階 ☎381-0501 <input type="checkbox"/> あずま子ども家庭クリニック(小児科のみ) 野幌住吉町25-10 ☎385-2500	<input type="checkbox"/> 江別谷藤病院 幸町22 ☎382-5111

●産婦人科救急夜間相談 ☎622-3299【さんぶきゅうきゅう】 札幌市産婦人科救急電話相談(年間全日対応 19:00～翌朝7:00)

●江別市夜間急病センター ☎391-0022(錦町14-5) 内科・小児科(年中無休) 診療時間 19:00～翌朝7:00 受付時間 18:30～翌朝6:30



無料相談窓口

※ 祝日は休みます。

相談窓口の名称：内容。日時 会場・詳細

暮らし

- **一般相談**：日常の悩みや困りごとの相談を受け、助言や専門機関を紹介。月～金曜日 8:45～17:15 市民相談所 ☎ 381-1021
- **税務相談**（要予約）：税理士が税全般の相談を受けます。2/18 (水)、3/18 (水) 13:00～16:00 市民税課 ☎ 381-1012 ※前月の1日から予約受付。
- **家庭生活悩みごと相談**：家族関係・対人関係・子育て・思春期など。月曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 385-1234、水曜日 10:00～15:00 にこにこ相談室 ☎ 389-7830（総合社会福祉センター内）、木曜日 10:00～15:00 市役所大麻出張所 ☎ 382-4855
- **悩みごとテレホン相談**：家庭生活の諸問題について相談ください。火・金曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 389-7830
- **消費生活相談**：消費生活の苦情や相談など。月～木曜日 9:30～16:30 金曜日 10:00～16:00 市役所第二別館 2階江別消費者協会 ☎ 381-1026 金曜日 10:00～16:00 市役所大麻出張所 江別消費者協会 ☎ 382-4855

健康

- **心の健康相談**（要予約）：精神科医師・保健師が相談を受けます。2/19 (木) 13:30～16:00 江別保健所 ☎ 383-2111 ※精神科受診歴のある方は要相談、前日 12:00 まで予約受付。
- **女性の健康相談**（要予約）：妊娠・出産・子育て・不妊・更年期など女性特有の悩みについて保健師が相談を受けます。2/10 (火) 13:30～15:30 江別保健所 ☎ 383-2111 ※前日 16:00 まで予約受付。秘密厳守。
- **親子健康相談**：3/4 (水) 13:30～15:00 保健センター ☎ 385-5252
- **へるすあっぷ相談**（要予約）：生活習慣病予防相談・栄養相談。2/9、16、23、3/2 いずれも月曜日 10:00～12:00 保健センター ☎ 385-5252

- **こころと体の健康相談**：保健師・栄養士が相談を受けます。月～金曜日 9:00～17:00 保健センター ☎ 385-5252

子育て・教育

- **乳幼児の子育て相談**：電話、来園、訪問で相談を受けます。月～金曜日 9:00～17:00 子育て支援センターすくすく ☎ 381-1714
- **子どもの発達相談**：子どもの発達について相談を受けます。月～金曜日 8:45～17:15 子ども発達支援センター ☎ 385-1015
- **子育てテレホン相談**：しつけ、思春期問題、親子関係など。月～金曜日 10:00～12:00 相談室（教育委員会内） ☎ 384-7005
- **家庭児童相談**：18歳未満の子育ての悩み、虐待、養育上困難な生活の悩み。月～金曜日 9:00～17:00 子ども家庭課 ☎ 381-1236
- **ひとり親・家庭相談**：ひとり親家庭の生活における悩みの相談、DV相談。月～金曜日 9:00～17:00 子ども家庭課 ☎ 381-1236
- **教育相談**（要予約）：臨床心理士（スクールカウンセラー）がいじめや不登校などの悩み相談を受けます。2/3、10、17、24 いずれも火曜日。10:00～12:00 少年指導センター（青年センター 2階サークル室 3） ☎ 384-7830
- **いじめ・不登校相談**：さまざまな教育相談を電話で受付。月～金曜日 10:00～17:00 少年指導センター ☎ 382-4044
- **子ども電話相談**：子どもの悩み事や心配事。月～金曜日 10:00～17:00 少年指導センター ☎ 384-7830
- **ヤングテレホン**：青少年の悩みごとや非行問題など。月～金曜日 13:00～17:00 相談室（教育委員会内） ☎ 383-8009

福祉

- **認知症の悩みごと相談**：江別認知症の人の家族を支える会が電話・面談にて相談を受けます。水・木曜日 10:00～15:00 いきいきセンターさわかち ☎ 387-5657。木曜日 10:00～15:00 総合社会福祉センター ☎ 389-7830

- **高齢者総合相談**：月～土曜日 8:45～17:15 江別第一地域包括支援センター ☎ 389-4144 月～金曜日 8:30～17:30、土曜日 8:30～12:30 江別第二地域包括支援センター ☎ 389-5420。月～土曜日 9:00～17:40 野幌第一地域包括支援センター ☎ 381-2940、月～金曜日 8:30～17:00、土曜日 8:30～12:30 大麻第一地域包括支援センター ☎ 388-5100
- **精神障がい回復者生活相談**：月～金曜日 10:00～15:00 あすか就労継続支援施設 ☎ 382-0660
- **障がい福祉相談**：障がいに関することなら何でも。月～金曜日 8:45～17:15 障がい者支援センター ☎ 802-5004

行政・法律

- **法律相談**（要予約）：弁護士が相談を受けます。2/12 (木)、26 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021 ※申込は、月初め平日初日 8:45 から電話で受付。各相談日先着5名。
- **人権相談**：いじめや差別、嫌がらせなど人権侵害にあたること。2/19 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021
- **行政相談**：国の行政などに関する意見や要望。2/26 (木) 13:00～15:00 市民相談所 ☎ 381-1021 ※当日随時受付。

その他

- **金融相談**（要予約）：中小企業者の経営、金融の相談を受けます。2/17 (火)、3/3 (火) 10:00～15:00 江別商工会議所 ☎ 382-3121
- **犯罪被害者支援**：専門のカウンセラーを斡旋します。月～金曜日 9:00～17:15 市民生活課 ☎ 381-1093 ※秘密厳守。
- **若者就労相談**（要予約）：現在、働いておらず、働くことに不安や悩みを持っている方（39歳までで、新規学卒者含む）を対象に無料で相談を受けます。1日4人まで。2/13、20、27、3/6 いずれも金曜日。10:00～16:00 野幌公民館。申込・詳細…若見沢地域若者サポートステーション ☎ 0126-25-0601（火～土曜日 10:15～17:15）



江別市立病院 今どきの養生ばなし No. 262

外科学の夜明け

外科主任部長 佐川 憲明

スポーツ番組、特に体操競技などをご覧になっている時に、人の名前のついた技を耳にすることがよくあると思います。体操選手が創意工夫し、国際大会で成功してはじめて命名権を得るようです。外科の手術で重要なものに手術器具と手術術式があります。これらの中には考案者の名前がついたものが数多くあるのでいくつか紹介していきます。

手術において出血コントロールが重要なのは、今も昔もかわりません。19世紀初頭、外科医は出血部を指で押さえるかピンセットではさんで止血していました。スムーズに奥深くまで手術するためには血管を次々と把持する止血鉗子が必要でした。フランス人のペアンは無鉤鉗子を、スイスのコッヘルは有鉤の鉗子を考案し次々に初手術を成功させていきました。止血しながら豪快に手術を進めていくペアン、繊細で

丁寧な手術で有名なコッヘル、二人の手術には大勢の見学者が訪れたそうです。術野の凶柄でもおなじみのペアン鉗子、コッヘル鉗子は今でも使用頻度が高い器具です。

19世紀後半、ドイツ人のビルロートは、これまでペアンが試みて失敗していた胃がん患者の胃切除術を初めて成功させました。慎重な準備と適度な適応のもとに症例を積み重ね、国際学会で手術経験を報告しました。これが今日でも汎用されているビルロート吻合術です。その他、日本人が考案した器具、術式も多数存在します。医師を目指している若者は多いと思いますが、自分の考案した器具、術式を後世に残すことを目標にしても良いのではないのでしょうか。

偉大な先人達は技術ばかりの人ではありませんでした。特にビルロートは医学教育に精通し、理論と実践、科学研究の重要性を説いています。また、「患者を診察するときには家族、同胞と同じように思っ対応すべき」と医師のあり方、倫理観についても訓示されています。現代の医師に対しても教訓となっており、その足跡は術式以上に大きなものとなっています。